

ふじのくにエネルギー総合戦略進捗評価書（案）－目標の進捗状況－

1 全体目標に対する進捗状況

項目	2019年度 (現状値)	2021年度 (目標)
地産エネルギー導入率※ ₁ (2015年度 15.1%)	19.8%	23%
地産エネルギーによるエネルギー 自立化率※ ₂ (2012年度 25%)	49.4%	52%
新エネルギー等導入量 (2014年度原油換算 80万kl)	121.0万kl	159.1万kl
太陽光発電の導入量 (2014年度 96万kW)	210.7万kW	210万kW
住宅用太陽光発電普及率※ ₃ (2013年度 5.0%)	7.3% (2018年度)	10%
エネルギー消費比率※ ₄ (2012年度 100)	86	85

※₁：県内の最終エネルギー消費量に対する地産エネルギー導入量の割合

※₂：電力、熱・蒸気といった二次エネルギー消費量に対する地産エネルギー導入量の割合

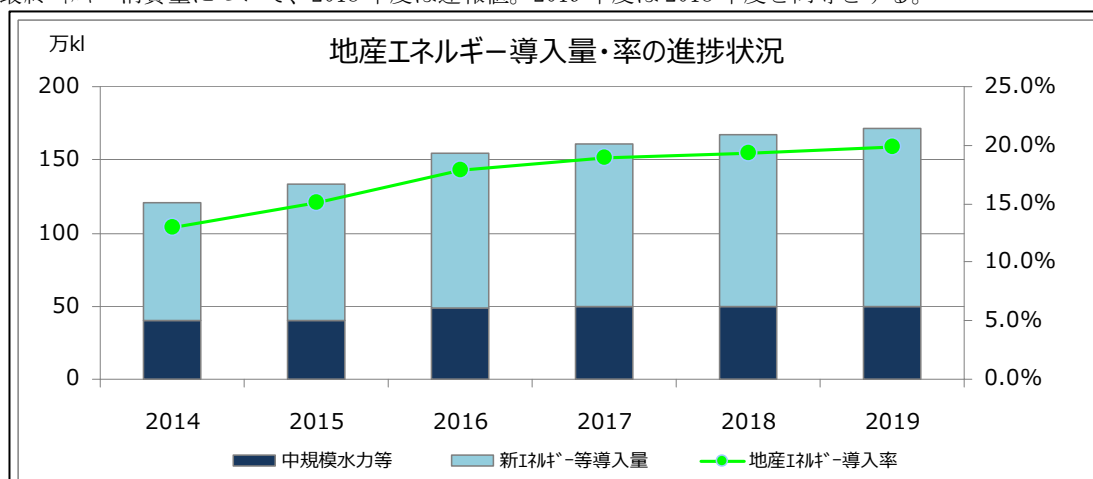
※₃：数値は5年ごとに公表

※₄：最終エネルギー消費量/GDP

【地産エネルギー導入率・エネルギー自立化率の推移】(原油換算：万kl)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
地産エネルギー導入量 A=B+C	120.5	133.3	154.5	160.8	166.8	171.2
新エネルギー等導入量 B	80.6	93.1	105.1	110.5	116.5	121.0
中規模水力、小規模火力等 C	39.9	40.2	49.3	50.2	50.2	50.2
最終エネルギー消費量 D	924.2	881.9	861.2	849.4	※865.0	※865.0
うち電力、熱・蒸気 E	341.4	333.4	324.2	323.8	※346.9	※346.9
地産エネルギー導入率 A/D	13.0%	15.1%	17.9%	18.9%	19.3%	19.8%
エネルギー自立化率 A/E	35.3%	40.0%	47.7%	49.7%	48.1%	49.4%

※最終エネルギー消費量について、2018年度は速報値。2019年度は2018年度と同等とする。



【エネルギー消費比率の推移】

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
最終エネルギー消費量 (万kl) A	924.2	881.9	861.2	849.4	※ ₁ 865.0	※ ₁ 865.0
実質県内総生産(億円) B	160,851	162,790	164,847	167,934	※ ₂ 170,851	※ ₂ 163,665
エネルギー消費比率 A/B (2012年度=100)	94	88	85	82	83	86

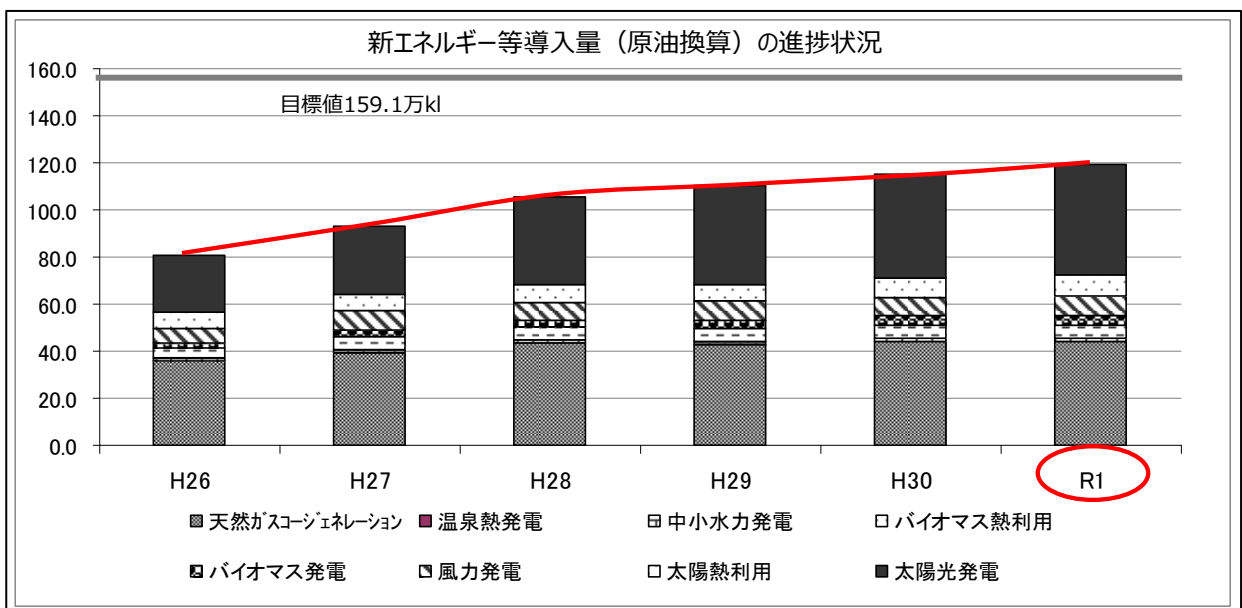
※₁ 最終エネルギー消費量について、2018年度は速報値。2019年度は2018年度と同等とする。

※₂ 実質県内総生産について、2017年度までは確定値、2018、2019年度は推計値。

※₃ エネルギー消費比率とは、実質県内総生産当りのエネルギー消費量において、2012年を100とした場合の各年度の比率。

2 新エネルギー等導入量の進捗状況

項目	2014 (H26) 年度 (基準年)		2018 (H30) 年度		2019 (R1) 年度		2021年度(目標)			
	設備容量 (万kW)	原油換算 (万kl)	設備容量 (万kW)	原油換算 (万kl)	設備容量 (万kW)	原油換算 (万kl)	設備容量 (万kW)	原油換算 (万kl)		
新エネルギー	太陽光発電	96.6	23.6	193.2	47.3	210.7	51.6	210.0	51.4	
	太陽熱利用	—	7.0	—	7.1	—	7.2	—	10.0	
	風力発電	14.2	6.3	17.7	7.9	19.1	8.5	20.0	8.6	
	バイオマス	発電	4.0	2.2	5.0	3.6	5.0	3.6	6.0	6.2
		熱利用	—	5.4	—	5.3	—	4.8	—	6.0
	中小水力発電	1.1	1.3	1.2	1.5	1.3	1.6	1.9	2.3	
	温泉熱発電	0.0003	0.0004	0.01	0.02	0.01	0.02	0.04	0.06	
利高用度	天然ガスコージェネレーション	40.8	35.8	49.5	43.9	49.5	43.9	85.0	74.6	
新エネルギー等計		—	80.5	—	116.6	—	121.0	—	159.1	



エネルギー源別の進捗評価と今後の取組

項目	2019年度実績値	評価区分	進捗状況の評価	今後の取組	
太陽光発電	210.7万kW	A	<ul style="list-style-type: none"> 近年鈍化傾向が見られるが、年間17万kW増加し、着実に導入が進んでいる。 大規模設備には環境との調和等の課題があるものの、太陽光発電が、今後も再エネ導入拡大の中心的役割を担うことが期待される。 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電に加え、蓄電池の設置による災害へのレジリエンス強化を広報し、一層の普及を図る。 地域との共生という課題を念頭に置き、処分や廃棄までの期間を含めて、市町の条例やがっくらの対応を促す。 	
太陽熱利用	7.2万k1	C	<ul style="list-style-type: none"> 近年は年間の設置件数が減少している。 コストの低減や高効率化などの課題解決が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 県民ニーズを捉えた的確な補助制度の執行や制度の周知など、目標達成に向け、より一層の進捗を図っていく。 	
風力発電	19.1万kW	B	<ul style="list-style-type: none"> 2018年度に1件の新規導入があった。 今後も大規模な導入計画があり、地域との調整は必要であるが、導入の増加が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との共生という課題を念頭に置きつつ、関係法令に則って、適切に対応していく。 	
バイオマスエネルギー	発電	5.0万kW	B	<ul style="list-style-type: none"> 小規模設備ではあるが、着実に導入が伸びている。 今後も導入計画があり、増加が見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本県の豊かな森林、水、温泉などの地域資源を活かした取組を進めるため、導入事例集を活用し、事業者等の計画立案を支援する。 事業初期の負担の軽減などの支援を継続する。
	熱利用	4.8万k1	C	<ul style="list-style-type: none"> 2015年度に大型設備が導入されて以降、近年は停滞している。 	
中小水力発電	1.3万kW	C	<ul style="list-style-type: none"> 県の助成制度により小規模であるが設備の導入が進んでいる 利水による関係者との調整等に時間が掛かっている。 		
温泉熱発電	0.01万kW	C	<ul style="list-style-type: none"> 2017年度にバイナリー発電の導入があったが、その後の導入は進んでいない。 		
ガスコージェネレーション	49.5万kW (2018年度実績)	—	<ul style="list-style-type: none"> 2016年度頃までは毎年一定の設備容量の増加があったが、近年はほとんど増加していない。 (一財)コージェネレーション・エネルギー高度利用センターの統計方法が変更になり、2019年度から実績値の把握が困難な状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 次期総合戦略策定の際に目標を設定するか検討する。 事業者に利子補給することで低利での融資を行い、負担軽減を図る。 	